

## コラム①：Unit Cost Database

Unit Cost Database は英国ニュー・エコノミーが公開している公的費用に関する単価のデータベースで、誰もがそのデータベースをエクセル形式でダウンロードすることが可能である。ユーザーは多様な分野の各アウトカムにかかっている費用の規模について一覧で確認できる。その分野は、犯罪、教育と技術、雇用と経済、火災、健康、住宅、社会サービスが対象で、エクセルのタブごとに分かれて示されている。現在のバージョンで、ユーザーは主に政府報告書や学術研究から得られた 600 件以上の費用項目を確認できる。算出された費用の質はニュー・エコノミーと英国政府が協力することで担保している。これらの費用は、公的領域への新規介入の実施、公的サービスの再設計またはその評価に関する提案を募集する際に使用可能である。プロジェクト管理者は、Unit Cost Database により公開されている情報にアクセスすることで、費用便益分析実施の前に、プロジェクトに関連する費用と便益を予測することが可能となる。新しい研究や分析の発表に伴い、データはニュー・エコノミーにより定期的にレビュー・更新されており、現在のバージョンは、2015 年 3 月に作成されたものである。

### 犯罪に関する費用のデータ一覧

(縦軸にアウトカム項目が羅列され、横軸に各費用の見積とその根拠が示される。)

費用削減の詳細：  
反社会的行動に係る費用  
(事件対応費用など) など

費用削減が起きる関係者：  
警察・地方行政など

Outcome category	Outcome detail	Cost code	Cost / saving detail	Unit	Agency bearing the cost / making the fiscal saving		Fiscal Cost			Economic Cost			Social Cost			Original source	RAG assessment
					Level 1	Level 2	Estimated cost/saving	Year	Updated cost/saving	Estimated cost/saving	Year	Weighted cost/saving	Estimated cost/saving	Year	Updated cost/saving		
CRIME	ANTI-SOCIAL BEHAVIOUR	CR1.0	Anti-social behaviour Number action necessary (cost of dealing with incident)	Per incident	Police	Local authority	£ 500	2010-11	£ 673							The Economics and Social Costs of Anti-Social Behaviour, Institute for Crime and Justice Research, University of Northumbria, 2011, p.13	Source: from a sample of selected
CRIME	DOMESTIC VIOLENCE	CR2.0	Domestic violence - average cost per incident (fiscal, economic and social values)	Per incident	Multiple		£ 2,470	2010-11	£ 2,830	£ 1,473	2010-11	£ 1,062	£ 6,730	2010-11	£ 7,853	Police Matters - The Cost of Domestic Violence, update 2010, p.8	This cost data on this sheet has been derived from the national crime survey
CRIME	OFFENDING	CR3.0	Offender, Prison Average cost across all prisons, including central costs (costs per prisoner per annum)	Per person per year	Criminal Justice System	Prison	£ 33,785	2010-11	£ 34,840							HMPPS - Cost per annum and costs per prisoner, 2013-14, 2014, p.14	This figure is the net regional charge
CRIME	YOUTH OFFENDING	CR4.0	Youth offender, average cost of a first-time entrant (under 18) to the Criminal Justice System in the first year following the offence	Per year	Criminal Justice System		£ 9,152	2010-11	£ 9,620							HMJ Analysis, based on HMJPA, Home Office, Ministry of Justice and Youth Justice Board Data, cited in HMJ 2011, p. The cost of a prison of offenders in the criminal justice system, p.13, p.8	This figure represents the average 1,000 p.
CRIME	PROCEEDINGS	CR5.0	Unit cost of court event: Violence against a person (over 18) (per person per court event)	Per event	Criminal Justice System	Court	£ 12,716	2010-11	£ 14,603							HMJ Analysis, based on HMJPA, Home Office, Ministry of Justice and Youth Justice Board Data, cited in HMJ 2011, p. The cost of a prison of offenders in the criminal justice system, p.13, p.8	
CRIME	PROCEEDINGS	CR7.0	Criminal proceedings: Arrest - detained	Per incident	Police		£ 593	2010-11	£ 719							Salford Police costs 2005-07	£342 per unit cost
CRIME	ALL CRIME	CR8.0	Crime - average cost per incident of crime, across all types of crime (fiscal, economic and social values)	Per incident	Multiple		£ 609	2010-11	£ 693	£ 676	2010-11	£ 736	£ 1,648	2010-11	£ 1,795	Figures derived from revisions made to the multiplier and unit costs of crime used in the Integrated Offender Management Value for Money Toolkit, 2011. This estimates the total cost (fiscal, economic and social) of	This figure is the net regional charge
CRIME	LABOUR COSTS PER HOUR	CR9.0	Police officer, Sergeant and below - cost per hour	Per hour	Police		£ 38	2010-11	£ 40							Home Office analysis (unpublished), based on HMJPA, HMJ ASHE and ACPO data	This is a net CR9, 2 informal

アウトカムの詳細：  
「反社会的行動」など

財政費用

経済的費用

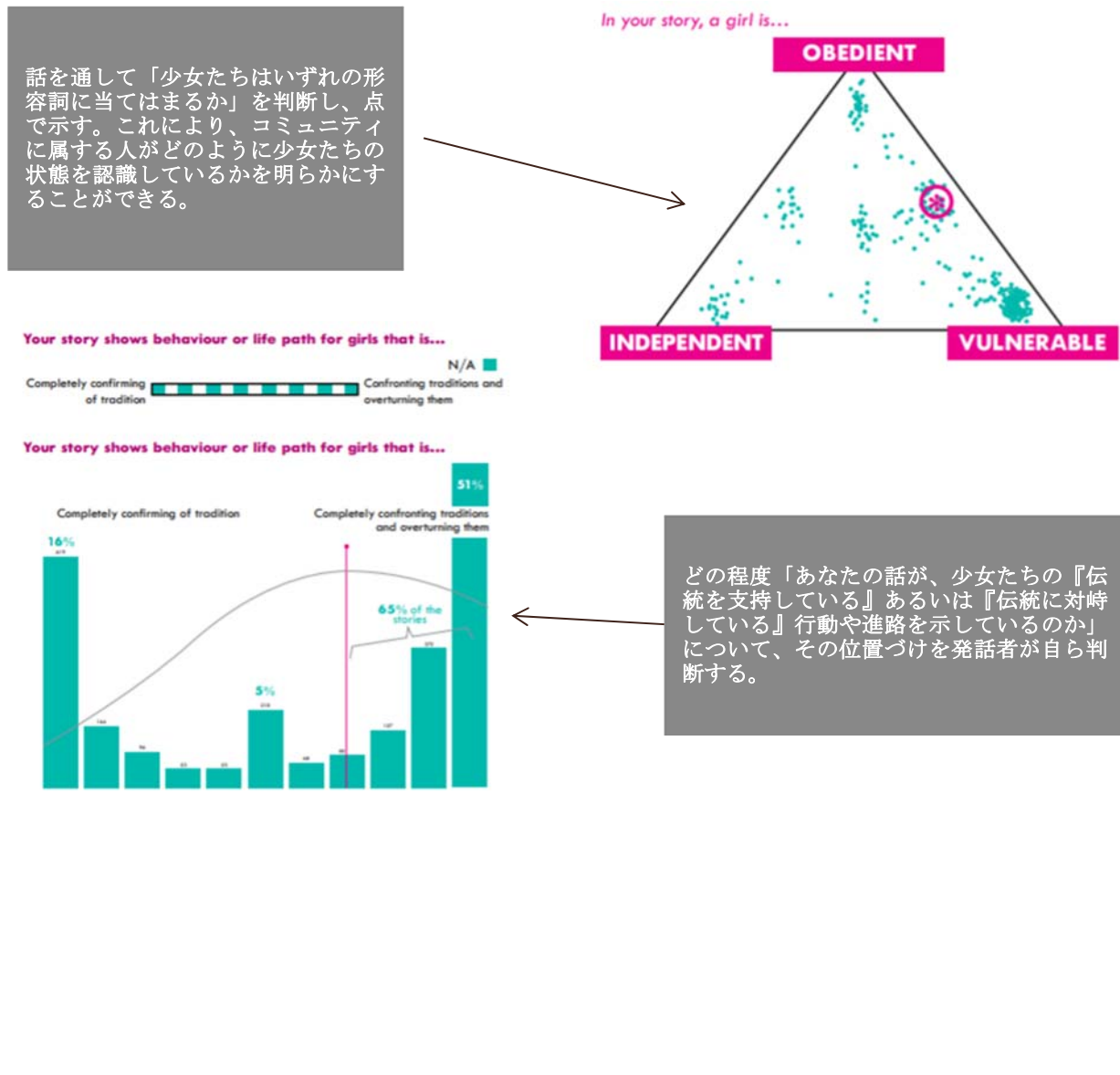
社会的費用

コラム② : Sensemaker

Sensemaker は、定性的な言語情報から、定量的な統計データを作成可能とすることで、意思決定支援、研究、進捗管理、知識管理ができる ICT ツールである。社会学の手法の一つで、受益者などの関係者へのヒアリングを多数集めることを通して、市場・労働者・市民などの行動を理解するというアプローチである「ナラティブインクワイアリー」がある。これらの発話データ（ヒアリング結果）は説得力があるが、客観的でない情報であるため、Sensemaker ではそうした情報を分析した上で、客観的な数値に変換し、定性的な情報と組み合わせることでより説得力の高いデータを作成可能とする。

例えば、GirlHub という団体が Sensemaker を使用して行った調査の事例では、ルワンダとエチオピアの少女の話を、丁寧に聴き出すところから始まった。こうしたヒアリングに続き、回答者はその話の意味を、一連の分析を可能とする「意味のフレームワーク (Significant framework)」と呼ばれる質問を通して伝える。「意味のフレームワーク」とは、調査の関心に沿って回答者が自身の話について分析を行うことができるようになる、一連の質問項目である。こうした質問項目は参加型のプロセスを経て構築される。例えば、彼女たち（あるいは自分自身）の話が「Obedient: 従順性」、「Independent: 自立」、「Vulnerable: 脆弱性」の3つのバランスの中で、どこに位置づけられるかを、関係者自身（ヒアリングの受け手）が選択する。また、どのくらい「伝統を支持している」、「伝統に対峙している」かについて、どこに位置づけられるのかを選択する、といったものもある。

Sensemaker は、ストーリーを含むデータ収集や分析に活用することができる。

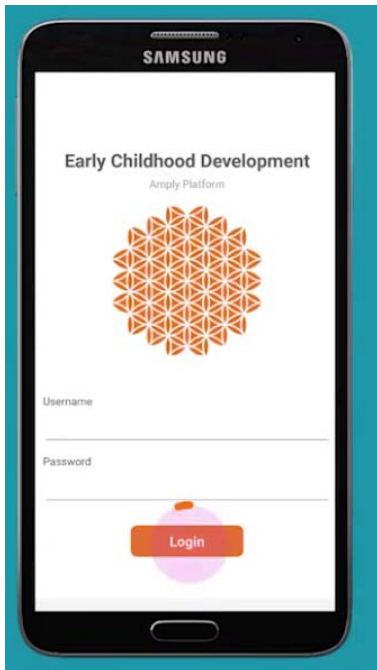


## コラム③ : ixo foundation

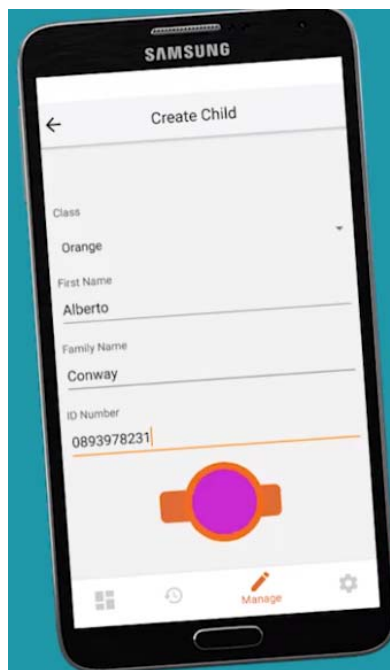
ixo foundation は、ブロックチェーン技術を用いて、途上国開発分野における社会的インパクト拡大をめざす組織である。ブロックチェーン技術は、すべての取引が記録され、その改ざんが不可能な点でデータの信頼性が高いことが特長とされる。具体的なプロジェクト事例としては、ユニセフ及び Innovaton Edge の支援を受け、2016年11月から南アフリカの幼稚園で開始された「AmPLY Project」がある。

幼年期発達支援（Early Childhood Development）は、子供たちの将来に大きな影響をもたらす重要な分野として、南アフリカでも補助金等が支給されているが、その政策は非効率かつ非効果的であった。そこで AmPLY Project では、それまで学校の先生が紙に記入していた子供たちの出席記録をモバイルアプリケーションでの入力に切り替え、そのデータが評価機関に承認されると政府から対象の子供たちに補助金が下りる仕組みとした。これにより、運営に要していた膨大な時間と費用が削減され、より多くの子供たちがサービスを利用できるようになった。同時に、補助金の使用方法に関する情報が取得可能となったことで補助金の使途の透明性が高まった。現在、この仕組みは 71 校に広がり、53,000 回の出席記録が蓄積され、毎月 4,000 時間以上の先生の事務作業削減につながっている。

モバイルアプリケーション  
ログイン画面



子供たちの基礎データの入力



子供たちの出席記録の入力

